

JICトレード株式会社

SDGsの取組

<p>取組・活動内容</p>	<p>JICトレード株式会社では、4R運動など日常業務内での取り組みに加え、ウズベキスタンからのハチミツ輸入販売事業を通してSDGsの活動に貢献できるよう以下のゴールを設定しております。また、その方法と手段及び活動目標を拡大していけるよう今後も模索していきます。</p>		
	<p>目指すゴール</p>	<p>取組・活動内容とゴールとの関係</p>	<p>目標</p>
<p>経済</p>	<p>17-パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>2019年12月に締結された名古屋市とウズベキスタン首都タシケント市のパートナー都市協定による取り組みに賛同し、貢献していく。</p>	<p>養蜂業者に限らず、あらゆる分野の関係者と友好関係を築き、互いの利益となる貿易や文化交流を促進する。2025年までに100社・団体以上との契約書または協定書締結を目指す。</p>
<p>社会</p>	<p>12-つくる責任、つかう責任：持続可能な消費と生産のパターンを確保する</p>	<p>生産コスト重視の加工ハチミツがあふれる現在の日本の食品市場にウズベキスタンの天然ハチミツを広めていくことで、本来のハチミツの底上げを図る。また、現地のみならず、日本国内においても養蜂文化、歴史、ハチミツ生産者の経済活動を支える。</p>	<p>(12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。) 勉強会やSNS配信などを通して、月2回以上啓蒙活動を行う。</p>
<p>環境</p>	<p>15-陸の豊かさをももろう：陸上生態系の保護、回復…ならびに生物多様性損失の阻止を図る</p>	<p>ミツバチの数は世界的に年々減少傾向にある。その主な原因の一つと言われる農薬の影響のないハチミツを普及させることにより、人間の健康だけでなく、ミツバチの生態系を守る。</p>	<p>(1) 残留農薬の危険性や日本及び世界の農薬使用に関するデータを紹介する。2022年1~2月中に開始し随時更新。(2) 社内で可能な取り組みとして、4R活動を促進。2022年3月までにオフィス用紙やペットボトル等の100%リサイクルに取り組む体制を整える。</p>